

議会のあり方調査特別委員会 議会ICT検討分科会 記録

開会年月日	令和4年6月9日
開会時刻	午後3時56分
閉会時刻	午後4時21分
出席委員名	◎北村 勝 ○宮崎 誠 三野泰嗣 川口 浩
	吉井詩子 岡田善行 福井輝夫 吉岡勝裕
	世古 明 議長
欠席委員名	なし
署名者	—
担当書記	森田晃司
協議案件	1 議会のデジタルデバйд対策について(アンケート結果について)
	2 議会におけるペーパーレス化について
	3 SNS・ホームページについて
説明員	森田書記

会議の概要

北村会長が開会を宣告。その後、直ちに会議に入り、「議会のデジタルデバインド対策について（アンケート結果について）」外2件を順次議題とし、協議を行い、分科会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

協議の内容

1 議会のデジタルデバインド対策について（アンケート結果について）

資料1（議会のデジタルデバインドに係るアンケートの結果について）について、議会事務局から説明があり、アンケート結果により、Google ドライブ・Google カレンダー等が「できない」、「分からない」と答えた議員に対して、議会事務局で随時サポートを行い、慣れていってもらうことが確認された。

2 議会におけるペーパーレス化について

前回示したスケジュール案について、会派へ持ち帰りとなっており、その協議結果について発言を求めたところ、以下のとおり発言があり、協議の結果、会派へ持ち帰り、次回改めて議論されることが確認された。

【発言】

- ・岡田委員（志誠会）「スケジュールをできるだけ早めてやるべき。準備が整い次第実行に移してほしいという意見が多かった」
- ・川口委員（日本共産党）（政友会・自由民主党を含む意見）「取組が難しいという議員については、議会事務局に支援をしてもらう、または各自勉強してもらう。また、予算書等は紙での提供が望ましい」
- ・三野委員（勢風会）「スケジュールについては、議会事務局で対応できるのであれば前倒しすることに賛成。紙とデータの併用期間はもう少し余裕を持って運用してみてもいい」
- ・吉井委員（公明党）（信貫を含む意見）「早く進めてほしい」
- ・宮崎副会長（新政いせ）「（スケジュールを）早めてほしい。冊子や枚数が多いものについては、どのように進めていくのかが課題となる。紙での支給もありながら、両方併用していき、手元にないときにはその資料をデータで見れるようにすればいい」

3 SNS・ホームページについて

前回、委員から問い合わせのあった鳥羽市の Twitter のフォロワー数が多い理由について、議会事務局から報告（鳥羽市議会の公式 Twitter 開設は全国初の試みであった等）があり、その後、会派に持ち帰りとなっていた SNS について発言を求めたところ、以下のとおり発言があり、協議の結果、次回改めて議論されることが確認された。

【発言】

- ・岡田委員（志誠会）「一方通行なのか、担当はどこが持つのか、こういったことがはっきり決まっていない。これをするために議会事務局の負担になることがあってはいけない。この問題点がクリアできれば SNS を活用するのは

あり。また、ホームページの内容と変わったものが出せない可能性があり、その点を研究し、それが有効であるならば検討してみてもは

- ・川口委員（日本共産党）（政友会・自由民主党を含む意見）「SNS に関しては責任の問題があるので、すぐやるべきという声はない」
- ・三野委員（勢風会）「取り組んでいくことには賛成であるが、誰が管理していくかなどの問題がある。双方向での運用は向いていないため、一方通行でFacebook やLINE の運用をしてはどうか」
- ・吉井委員（公明党）（信貫を含む意見）「SNS について肯定的な意見はない」
- ・宮崎副会長（新政いせ）「一方通行での運用がよい。伊勢市（市長部局）で運用している公式LINE の運用方法を確認した上で、金額、誰が管理していくかを見えるようにしたい。また、Facebook については、伊勢市（市長部局）のLINE がこれまでどれだけのユーザーを集められているか、伊勢市（市長部局）からのアカウントからも入れる、市議会のアカウントへもスイッチできると利便性がよい」

上記署名する。

令和4年6月9日

会 長